令和4年度 第6回 広島市立広島市民病院治験審査委員会議事概要

開催日時: 令和4年10月25日(火) 17時30分~ 18時25分 開催場所: 広島市立広島市民病院 中央棟9階 大会議室

出席委員名:出家正隆、松本俊治、江原伸、児玉順一、寺田佳子、大岩寛、大井邦臣、大石智恵美、志和資朗、古屋憲次、開浩一

承認番号	治験依頼者	治験課題名	治験 段階	審議事項	審議内容	審議結果
2022-5	中外製薬(株)	中外製薬株式会社の依頼による小細胞肺癌患者を 対象としたRO4876646とMPDL3280Aの第III相試験	Ш	新規治験の審議	・これまでに得られている非臨床試験・臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。	承認
2022-6	日本イーライリリー(株)	日本イ―ライリリー株式会社の依頼による LY3473329の第Ⅱ相試験	п	新規治験の審議	・これまでに得られている非臨床試験・臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。	承認
2022-7	(治験国内管理人)パレク セル・インターナショナル (株)	症候性全身型重症筋無力症患者を対象とした pozelimab及びcemdisiran併用療法の有効性及び安 全性	Ш	新規治験の審議	・これまでに得られている非臨床試験・臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。	承認
0044 40		中外製薬株式会社の依頼による		·›···································	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
2011–18	中外製薬(株)	RO4368451(Pertuzumab)とRo45-2317(Trastuzumab) の早期乳がんを対象とした第皿相試験	Ш	治験の継続審議	・当院で発生した重篤な有害事象に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2013-7		ファイザー株式会社の依頼による乳がん患者を対象	Ш	治験の継続審議	・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
		としたPD-0332991の第3相試験		・治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。		
					・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
2015-8	ブリストル・マイヤーズ ス クイブ(株)	ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたBMS-936558の第 田相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、年次報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
					・治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
2015–14	中外製薬(株)	中外製薬株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌 患者を対象としたMPDL3280Aの第Ⅲ相臨床試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告、レター)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
		思有を対象としたMPDL3280Aの第皿相臨床試験		報 告	・当院での治験が終了したことを報告した。	
2015-15	クリニペース(株)	クリニペース株式会社の依頼による非小細胞肺癌を 対象としたMEDI4736の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、年次報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2016-1	アストラゼネカ(株)	アストラゼネカ株式会社依頼による原発性乳癌患者 を対象としたAZD2281の第Ⅲ相試験	IV	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

承認番号	治験依頼者	治験課題名	治験 段階	審議事項	審議内容	審議結果
2016-4	アストラゼネカ(株)	アストラゼネカ株式会社の依頼による非小細胞肺癌 患者を対象としたAZD9291の第Ⅲ相試験	IV	治験の継続審議	・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2016-18	MSD(株)	MSD株式会社の依頼によるトリプルネガティブ乳癌 患者を対象としたMK-3475(Pembrolizumab)の第Ⅲ 相試験	IV	治験の継続審議	・治験実施計画書および治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2017-1	中外製薬(株)	中外製薬株式会社の依頼による乳癌患者を対象とした術前補助療法におけるMPDL3280A(アテゾリズマブ)の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告、レター)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2017-2	小野薬品工業(株)	ONO-4538 非扁平上皮非小細胞肺がんに対する第 Ⅲ相試験	IV	治験の継続審議	・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2017-8	MSD(株)	MSD株式会社の依頼による胃腺癌及び食道胃接合 部腺癌を対象としたMK-3475の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2017-9	アストラゼネカ(株)	アストラゼネカ株式会社の依頼による転移性非小細胞肺癌を対象としたDurvalumab, Tremelimumabの第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2017–13	中外製薬(株)	中外製薬株式会社の依頼による術後乳癌患者を対象としたatezolizumabの第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告、レター)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2018-2	協和キリン(株)	糖尿病性腎臓病患者を対象としたRTA 402 (Bardoxolone methyl)の第皿相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2018-5	第一三共(株)	第一三共株式会社の依頼による乳癌を対象とした DS-8201a(trastuzumab deruxtecan)の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2018-6	第一三共(株)	第一三共株式会社の依頼による乳癌を対象とした DS-8201a(trastuzumab deruxtecan)の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認

承認番号	治験依頼者	治験課題名	治験 段階	審議事項	審議内容	審議結果	
				治験の継続審議	・治験実施計画書の改訂および治験薬概要書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認	
2018-7	パレクセル・インターナショ ナル(治験国内管理人)	治験国内管理人パレクセル・インターナショナル株式 会社の依頼によるREGN2810の第1相試験		・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	7,7 4,100		
				報告	・治験分担医師の変更について迅速審査にて審議され、承認されたことを報告した。		
2018-9	中外製薬(株)	中外製薬株式会社の依頼によるHER2陽性早期乳癌 患者を対象としたRO7198574の第皿相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、年次報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認	
2018-11	小野薬品工業(株)	小野薬品工業株式会社の依頼による胃がん患者を 対象としたONO-4538の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、年次報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認	
2018-13	第一三共(株)	第一三共株式会社の依頼による乳癌を対象とした	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認	
		DS-8201a(trastuzumab deruxtecan)の第皿相試験		1 冶駅の格枕番譲	・治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。		
2018-14	MSD(株)	MSD株式会社の依頼による胃癌を対象としたMK-		・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	- 承認		
2010 14	MOD(IA)	3475の第皿相試験	1	プロ が V 列本 が (音) 報		・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、年次報告、措置報告)について責任医師の 見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	77 00
0010 10	MSD(株)	MSD株式会社の依頼によるER+/HER2-高リスク乳	ついて審議した。	・治験実施計画書および治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	Z. = N		
2018-16	MSD(株)	癌患者を対象としたMK-3475の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認	
2018-17	中外製薬(株)	中外製薬株式会社の依頼による早期乳癌患者を対象としたRO5541267(アテゾリズマブ)の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告、レター)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認	
2018-19	MSD(株)	SD株式会社の依頼による胃癌を対象としたMK 3475 の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認	
2019-5	アストラゼネカ(株)	アストラゼネカ株式会社の依頼による乳癌患者を対 象としたCapivasertibの第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認	

承認番号	治験依頼者	治験課題名	治験 段階	審議事項	審議内容	審議結果
2019-6	MSD(株)	MSD株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌患者 を対象としたMK-3475の第Ⅲ相試験	ш	治験の継続審議	・治験実施計画書、同意説明文書および添付文書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの 妥当性について審議した。 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2019-7	中外製薬(株)	中外製薬株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者 を対象としたMPDL3280A(アテゾリズマブ)の第Ⅲ相 試験	ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告、レター)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2019-11	アストラゼネカ(株)	アストラゼネカ株式会社の依頼による非小細胞肺が ん患者を対象としたAZD6094の第 II 相試験	п	治験の継続審議	・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2019-12	第一三共(株)	第一三共株式会社の依頼による第Ⅰ/Ⅱ相試験	п	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2019–13	アストラゼネカ(株)	アストラゼネカ株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌患者を対象としたMEDI4736の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・治験実施計画書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2019-15	MSD(株)	MSD株式会社の依頼によるMK-3475/MK-7339の第 Ⅱ/Ⅲ相試験	П/Ш	治験の継続審議	・治験薬概要書の改訂および科学的知見を記載した文書に基づき、引き続き治験を実施することの 妥当性について審議した。 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づ き、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2019-17	バイエル薬品㈱	中枢神経系(CNS)の造影MRI検査が適用となる CNS病変を有する又は強く疑われる成人患者を対象 として盲検読影を行う、BAY 1747846単回静脈内投 与の多施設共同、単盲検、用量設定試験	п	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(年次報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2019-20	アストラゼネカ(株)	アストラゼネカ株式会社の依頼による切除可能非小細胞肺癌患者に対する治療として、ネオアジュバント /アジュバント療法におけるデュルバルマブ投与を 評価する第III相試験	ш	治験の継続審議	・治験実施計画書の改訂および科学的知見を記載した文書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
		מון ושון 7 עייאיקטן וויין איין איין וויין איין איין וויין איין א		報告	・治験分担医師の変更について迅速審査にて審議され、承認されたことを報告した。	

承認番号	治験依頼者	治験課題名	治験段階	審議事項	審議内容	審議結果
2020-1	アッヴィ合同会社	アッヴィ合同会社の依頼によるTelisotuzumab Vedotin(ABBV−339)の第Ⅱ相試験	П	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
		A COOCIII (A CO) OOO A TI III AAA		報告	・治験分担医師の変更について迅速審査にて審議され、承認されたことを報告した。	
2020-2	アストラゼネカ(株)	アストラゼネカ株式会社の依頼による乳がんを対象 としたAZD5363, ZD9238の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2020-5	日本イーライリリー(株)	日本イーライリリー株式会社の依頼による小児片頭 痛の急性期治療におけるLY573144のPIONEER PEDS1 試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
	(1)	日本イーライリリー株式会社の依頼による小児片頭		>	・被験者服薬指導の補助資料に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	7.57
2020-6	日本イーライリリー㈱	痛患者を対象としたLY573144のPIONEER-PEDS2 試験	□ 治験の継続審議 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解にき治験を実施することの妥当性について審議した。	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認	
		せん妄の発症リスクが高い日本人被験者を対象とし			・治験実施計画書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
2020-9	MSD(株)	たMK-4305(スポレキサント)の第Ⅲ相試験	・依頼者から報告された安全性情報(車馬な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・法験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書の改訂および科学的知見を記載した文書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認		
					・治験実施計画書の改訂および科学的知見を記載した文書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
2020-10	アストラゼネカ(株)	アストラゼネカ株式会社の依頼による食道癌患者を 対象としたDurvalumabの第皿相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2020-11	中外製薬(株)	中外製薬株式会社の依頼による乳癌患者を対象と したGDC-9545の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、年次報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2020-13	第一三共(株)	第一三共株式会社の依頼による乳癌を対象とした	ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
		DS-8201a(trastuzumab deruxtecan)の第皿相試験			・治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
2020-14	第一三共(株)	第一三共株式会社の依頼による乳がんを対象とした トラスツズマブ デルクステカンの第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、年次報告、措置報告)について責任医師の 見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
		1 ノハノハマン ブルノハブガンの岩 単行試験			・治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
2020-15	サノフィ(株)	サノフィ株式会社の依頼による乳癌患者を対象とし たSAR439859の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
		7.00、11.11000000 对 血门口的人间次			・治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	

承認番号	治験依頼者	治験課題名	治験段階	審議事項	審議内容	審議結果
2020-17	パレクセル・インターナショ ナル(株) (治験国内管理人)	切除不能局所進行性又は転移性HER2陽性乳癌患者を対象として、tucatinib+アドトラスツズマブエムタンシン (T-DM1) 併用療法と、プラセボ+T-DM1併用療法とを比較する無作為化、二重盲検、第3相試験(HER2CLIMB-02)	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2020-19	ユーシービージャパン(株)	全身型重症筋無力症患者を対象とした ROZANOLIXIZUMAB を 評価する非盲検継続試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2020-20	バイエル薬品(株)	バイエルが治験依頼者として実施した先行試験に組 入れられた被験者にダロルタミドを継続投与する非 盲検、単一群、ロールオーバー試験	IV	治験の継続審議	・同意説明文書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2020-23	アレクシオンファーマ合同 会社	アレクシオンファーマ合同会社の依頼によるギラン・ バレー症候群(GBS)患者を対象としたEculizumabの 第3相試験	Ш	報告	・当院での治験が終了したことを報告した。	
2021-2	中外製薬(株)	中外製薬株式会社の依頼による膀胱癌患者を対象 としたMPDL3280Aの第Ⅲ相臨床試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告、レター)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2021-4	MSD(株)	MSD株式会社の依頼による胃癌患者を対象とした MK-3475とMK-7902(E7080)の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告、年次報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2021-6	第一三共(株)	第一三共株式会社の依頼による乳癌を対象としたト ラスツズマブ デルクステカンの第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・治験実施計画書および同意説明文書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2021-7	武田薬品工業(株)	武田薬品工業株式会社の依頼によるctDNAの存在に基づく分子的疾患を有する、HER2 陰性BRCA 変異陽性乳癌患者又はトリプルネガティブ乳癌患者を対象とした、ニラパリブの第3相試験	Ш	治験の継続審議	・治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、措置報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2021-8	日本イーライリリー(株)	日本イーライリリー株式会社の依頼による乳がん患 者を対象としたLY3484356の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2021-9	アストラゼネカ(株)	アストラゼネカ株式会社の依頼による非小細胞 肺癌患者を対象としたデュルバルマブ、Oleclumab	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等、年次報告)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
		及び Monalizumab の第皿相試験		報告	・治験分担医師の変更について迅速審査にて審議され、承認されたことを報告した。	

承認番号	治験依頼者	治験課題名	治験 段階	審議事項	審議内容	審議結果
2021-10	第一三共(株)	第一三共株式会社の依頼によるホルモン受容体陽性、HER2陰性乳癌患者を対象としたDatopotamab Deruxtecan (Dato-DXd, DS-1062a)の第皿相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2021-11	小野薬品工業(株)	小野薬品工業株式会社の依頼によるてんかんを対 象としたONO-2017(cenobamate)の第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2022-1	第一三共(株)	第一三共株式会社の依頼によるPD-1/PD-L1阻害 剤治療の候補とならない局所再発手術不能又は転 移性トリプルネガティブ乳癌患者を対象とした Datopotamab Deruxtecan(Dato-DXd, DS-1062a) の第皿相試験	Ш	治験の継続審議	・同意説明文書の改訂および治験実施計画書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2022-2	MSD(株)	MSD株式会社の依頼によるMK-7119の第Ⅱ相試験	II	治験の継続審議	・依頼者から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2022-3		ARTham Therapeutics株式会社の依頼による水疱性 類天疱瘡患者に対するART-648 の有効性及び安全 性を検討する第 II 相臨床試験	II	治験の継続審議	・治験実施計画書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2020-18	伊藤 充矢	HR陽性HER2陰性進行再発乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ+アテゾリズマブのランダム化比較第Ⅲ相試験(医師主導治験)	Ш	治験の継続審議	・責任医師から報告された安全性情報(重篤な副作用等)、措置報告について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2020-21	丁田 泰宏	4型進行胃癌に対する術後または周術期補助化学療法としての全身・腹腔内併用化学療法と全身化学療法の無作為化比較第Ⅲ相試験	Ш	治験の継続審議	・治験実施計画書改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
2020-22	岩本 康男	未治療進展型小細胞肺癌に対するシスプラチン+イリノテカン+デュルバルマブ(MEDI4736)療法の多施設 共同単群第II相試験	Ш	治験の継続審議	・責任医師から報告された安全性情報(重篤な副作用等)について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・院内の重篤な有害事象報告について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	承認
		N NI A THE STATE IMPRESSA		報告	・分担医師の削除について迅速審査にて審議され、承認されたことを報告した。	